

令和元年度 特色ある学校づくりサポート事業

須賀川市立第二小学校

1 事業の名称 須賀川市立第二小学校学力向上等推進事業

2 事業の目的

須賀川市では「学校教育の重点」に「確かな学力の育成」や「健康の増進と体力向上」を挙げている。本校においても、児童の学力向上と体力向上を図ることは喫緊の課題であり、日々行われる授業を中心として目標達成に向けて取り組んでいるところである。

そこで、確かな学力向上のために、授業研究を核として、刺激し合い高め合う教員集団をめざし、教師の授業力の向上を図り、学力向上を推進したいと考える。

体力向上においては、肥満児童の減少と体力向上をめざし、体育の授業の充実を図るとともに、児童の運動への興味・関心を高める事業を展開したいと考える。また、日々の授業や休み時間等も利用しての活動を工夫したい。

さらに、多くの出会いを通して豊かな心を育くみ、小・小連携、小・中一貫教育を土台として、学校・地域間で人的交流を促進する。体験活動を通して地域とのつながりを深め、郷土愛を育て地域に開かれた学校づくりを進めたいと考える。

3 事業の内容

(1) 授業の工夫改善を意図した学校研究への取り組み

- 学校の共同研究として、『自分の考えを表現し、進んで学び合う児童の育成～主体的・対話的な学習を通して～』をテーマとし、須二中学区の小中一貫教育の推進の最重要課題として、学力向上に努める。
- 小・中の円滑な接続を図り、9年間を見据えた系統的な教育を行うことで、一人一人の個性を伸ばし、生き抜く力を育む。
- 中学校との計画的な教員交流を進める。
- 一人一回以上の授業研究を行い、研究を深める。その際、大学教授等を招聘する。
- 授業研究を核とした授業改善を進めるため、教師の授業力向上に取り組む先進校を視察する。
- 食育と健康教育を関連づけ、肥満率を下げるとともに、体育の授業の充実を図り、体力向上に取り組む。その際、専門的知識・技能を有する人材を活用する。

(2) 学習センターとして図書室の環境作り

- 図書室内の学習コーナーの整備を図り、調べ学習など児童が活用しやすい環境を整備する。
- 学校司書や図書ボランティアを活用した読み聞かせや親子読書の奨励を推進する。
- 読書意欲を高めるために「多読賞」や「読書郵便活動」などを設定する。

(3) 地域連携の推進、外部人材の積極的活用

- 地域を理解し、主体的に地域創生に関わる意識を高めるため、ふるさと学習を積極的に行う。
- 地域の人材を活用して地域の持つ教育力を生かし、地域とつながりのある教育活動を進める。
- 外部講師を招聘して泳力を高める。



地域の方と歴史探検



講師をよんでの授業研究



体育専門アドバイザーによる体育の授業



講師による健康教室（肥満防止）